

ゲーテ大学 社会科学部（ドイツ）

2月は終わるのが早かったです。はじめて大学の期末パーティに行ったり、友達のパーティに読んでもらいドイツの都市計画の学生と知り合い、プロジェクトについて話を聞いたり。多くの人と交流を深めることができました。今月はじめから卒業論文のための先行論文の翻訳に時間を費やし、中2週間ほど友人が滞在し、月末にやっと終わりました。半年で帰国する他の留学生の友達が多く、最後の思い出やお別れなど、やりたいことに対しての時間を確保する難しさを感じた1ヶ月でした。

高麗大学校（韓国）

月の半分は、寮を出てソウルで部屋を借りて、一人旅をしたり、友達と会ったりしました。前期でもソウルにはいきましたが、一人でじっくり観光することは難しかったので、自分のやりたかったことやthe 観光地のような場所に行けて満足できました。

その中で、西大門刑務所という場所に行きました。日本が韓国を統治している時代に設立された監獄です。最近ネットフリックスで配信されていた京城クリーチャーというドラマを見て、日本の統治時代について興味を持っていましたが、ずっと躊躇していくことができていませんでした。今まで学校で歴史について学んできましたが、このような監獄があり、活動家を取り締まっていたことについて詳しく知りませんでした。最近は日韓関係が良好で、私も反日の方にはありませんが、とても考えさせられる日になりました。

キール大学（イギリス）

【Consumer Behaviour】

一回の授業で扱う内容量が多いだけに、Lectureの進むスピードが非常に速いです。わからない単語を調べているとすぐに置いてかれてしまいます。この授業の最終課題であるエッセイは週ごとにそれぞれの設問が提示されており、その中から1つ好きな設問を選ぶ形式です。そのため、エッセイで書きたいと思っているトピックの週は念入りに予習をするべきであると感じています。また、第5週目から他の授業と同様にTutorialが始まりました。事前にリーディング題材と理解を深めるための簡単なワークシートを終えている必要があり、Tutorial内ではそのワークシートをもとに2-3人でディスカッションを行いました。第4回までAcademic Capabilities Developmentをコンテンツとして扱っていたこともあり、今週からのTutorial内でもそこでのポイントを踏まえうえで授業が進んでいるように感じました。

ヤゲウォー大学（ポーランド）

今学期はシステム上の問題等もなく、つつがなく履修登録を終えることができた。今学期履修することにしたのは

- Nationalism and Identity[IPHSS-MISH/NI]
- The Holocaust and Its Cultural Meaning[MISH/iphss/H/2]
- Film and Religion[IPHSS-MISH/FR]
- History and Sociology of Food and Drink in Poland[MISH-IPHSS-HSF]

の4つである。

Nationalism and Identity、The Holocaust and Its Cultural Meaning、Film and Religionの3つの授業に関してはシラバスに詳細が無く、伝聞での情報しかないので説明は割愛するが、History and Sociology of Food and Drink in Polandは留学生が履修できる授業の中でも特に人気の授業であり、内容としてはポーランドの飲食文化を学術的に解説するものとなっているようだ。教室内のレクチャーだけに限らず、レシピの実践、そしてそのレシピの社会的背景、歴史、暦の中での位置づけなどの学習、加えて学期末には地元の職に関するイベントへの小旅行なども行うそうで、全体的によりポーランドの文化を実践的に学べる内容になっているようだ。個人的にはポーランドの食文化を本格的に学ぶ機会というのはあまり無かったという事もあって特に興味深い内容のように思う。

サウスカロライナ大学エイキン校（アメリカ）

【Consumer Behavior】

今月は、リファレンスグループという概念について学びました。リファレンスグループとは個人が買い物をするときに影響を与えるとするグループで、例えば家族からのおすすめを買う場合は家族がリファレンスグループの一つとされることなどを学びました。今月は一つ目のライティングセッションがあり、主に自身の体験を交えつつリファレンスグループが消費者に与える影響について深掘したのですが、無意識のうちに自分の選択が他者に影響されていたことを知り、興味深い発見となりました。

タマサート大学（タイ）

【Lower Intermediate Thai】

授業の前半は文字を勉強して後半はスピーキングの練習という流れで勉強しています。1 semesterよりもクラスの人数が少ないのでひとりひとり文字の書き方や発音を確認してもらえます。

このクラスは今月下旬に中間試験がありました。1 semesterのときは筆記試験だけでしたが今回は筆記試験とスピーキングの試験がありました。スピーキングの試験では会話とタイ文字を読む試験があり、会話はほとんど間違えずにできましたがタイ文字の微妙な発音の違いができなかったのもっと練習しなければならないと思いました。